

所在地:	横浜市緑区白山1-16-2				
敷地面積:	10289㎡	延床面積:	20497㎡		
設立:	1989年8月	従業員数:	926名		
ISO14001取得:	1998年7月	ISO14001最新更新:	2010年7月		
主要製品:	コミュニケーション機器				
環境コミュニケーション:	10年度				
情報開示:	1件	工場見学:	0名	地域貢献活動:	1件
問合せ:	コーポレート管理部 環境・社会貢献室		TEL:	045-450-2512	

## ごあいさつ

白山事業所は、JR横浜線の中山駅と鴨居駅の間にある白山ハイテクパークという先端技術産業の工業団地の中にあり、すぐ横には河畔を散策できる鶴見川が流れています。環境保全活動としては1997年より取り組みを開始し、翌年の1998年にISO14001の認証を取得しました。

当初から「省エネ推進活動」や「廃棄物の削減活動」を進めてきた結果、廃棄物の削減ではゼロエミッションを達成、維持しております。また、主製品である無線機の開発においては、製品の低消費電力化や消費電流の削減、包装材の減容化に向けた取り組みを進めています。

今後も、一人ひとりの日々の取り組みが着実な成果を出せるよう、組織と体制を整え継続的改善に積極的に取り組むとともに、社会・地域貢献への取り組みへも積極的に参加して参ります。



事業所長  
鈴木 昭

## 2010年度の環境重点テーマの取り組み

目標	成果
事業所の省エネルギーの推進(CO2削減) CO2排出量を1,101.8t-CO2 <sup>※</sup> 以下とする。	CO2排出量 993.5t-CO2 <sup>※</sup> (目標に対し108.1%の達成) (1997年度比:46.6%の削減)
社会貢献活動 ペットボトルキャップ回収によるワクチンの寄付	回収・提供実績 88,472個 (社内販売本数に対し118.1%相当を回収) (100%を上回るのは社外・家庭からの持ち込み分を含むため)
社会貢献活動 地域貢献活動	事業所にて緑化3回を実施 地域清掃(六社会)1回実施
	※ 使用エネルギーのほとんどは電力で、換算値は社内基準係数を使用しています。

## 製品・環境配慮ポイントの紹介

### ●業務用無線機

**【無線機分野では環境に配慮した製品開発により幅広い改善に取り組んでおります】**

海外業務無線用モバイル機TK-7360/8360は従来の同等製品より、待ち受け時の待機消費電流を30%削減しました。

また、デジタルポータブル機NX-220/320は海外で高評価を受けているNX-200/300の小形版として更に機能アップを図り従来の同等製品より、製品質量を20%削減しました。



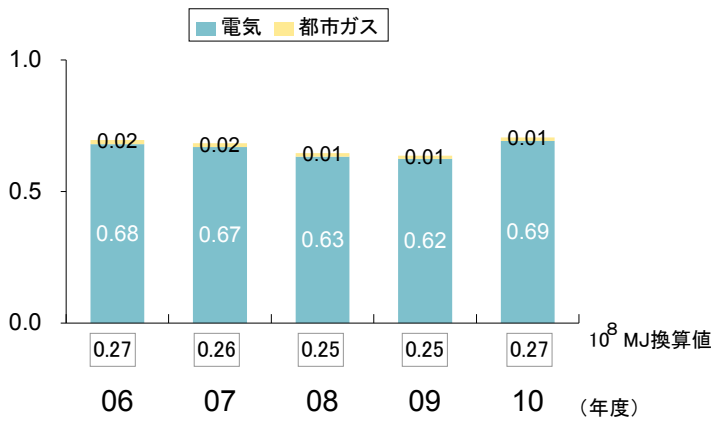
海外向け業務用無線機  
TK-7360/TK-8360



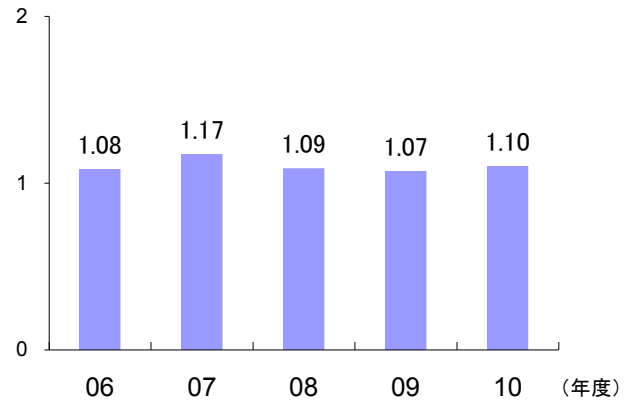
デジタル業務用携帯無線機  
NX-220/320

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010:2010年4月1日～2011年3月31日

エネルギー使用量 単位:千kl



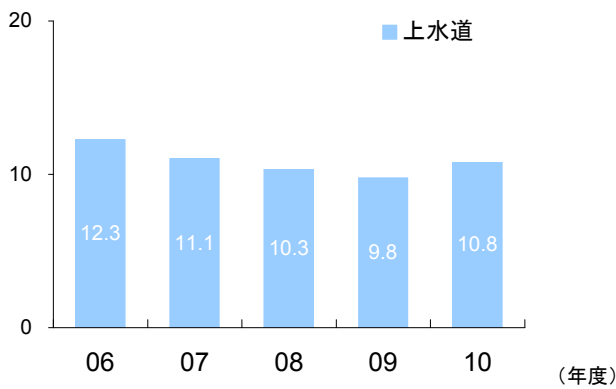
CO2排出量 単位:千t



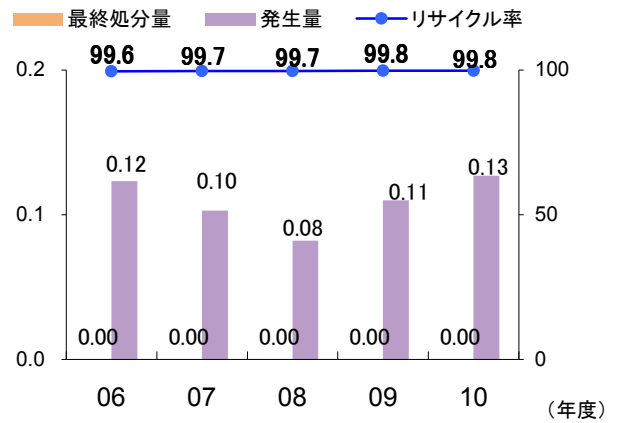
算出基準について

電力のCO2換算値は電気事業連合会の資料に準拠しています。2010年度のCO2換算は0.412kg/kwh(2009年実績値:2010年9月公表値)を使用しました。

水の使用量 単位:千m<sup>3</sup>



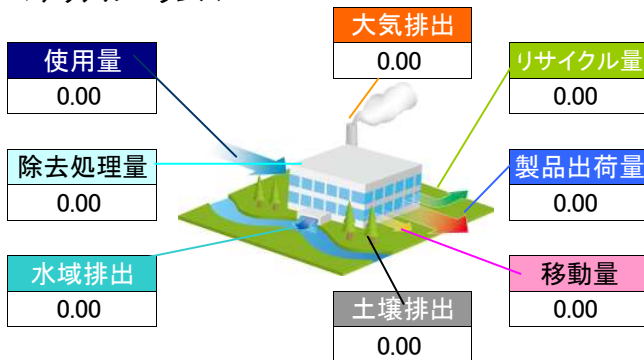
産業廃棄物・有価発生物 単位:千t、%



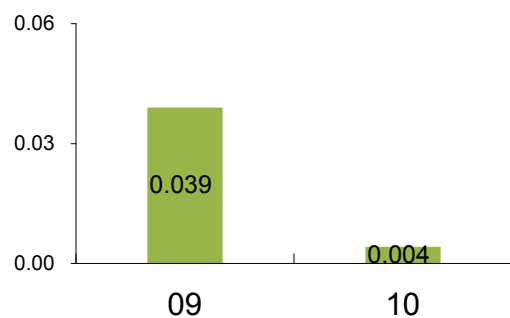
化学物質

単位:t

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

化学物質の管理及び取り扱いについては、著しい環境影響を与えないよう手順書を定め運用しています。使用化学物質は主にアルコール系薬品で、用途は試作サンプルなどのケースやシャーシ等についた指紋や汚れの洗浄クリーニングに使用しています。

## 環境法令等の順法状況 10年度

## &lt;大気汚染物質計測状況&gt;

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm3/h	N/A			0.00		
		N/A			0.00		
		N/A			0.00		
NOx	ppm	N/A			0.00		
		N/A			0.00		
		N/A			0.00		
ばいじん	g/Nm3	N/A			0.00		
		N/A			0.00		
		N/A			0.00		

## &lt;水質汚濁物質計測状況&gt;

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	N/A	600未満	570未満	295.40		年1回(自主測定)
窒素	mg/l	N/A	240未満	228未満	84.00		年1回(自主測定)
リン	mg/l	N/A	32未満	30未満	1.70		年1回(自主測定)

## &lt;騒音・振動&gt;

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界線上	67.50	67.00	59.00	59.00	設備更新時
		夜 敷地境界線上	52.50	52.00	42.50	43.00	設備更新時
振動	dB	昼 敷地境界線上	65.00	64.50	28.00	28.00	設備更新時
		夜 敷地境界線上	55.00	54.50	28.00	28.00	設備更新時

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

## 法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

## 指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

## 環境方針

## 【 環境方針 】

ケンウッドグループは、カーエレクトロニクス・コミュニケーションズ・ホームエレクトロニクスの事業活動、製品開発およびサービスにおいて、環境に与える影響を十分に認識し継続的に改善することにより、地球環境と資源の保全、汚染予防を図り、環境に配慮した企業経営に取り組みます。

1. 地球温暖化防止のために、環境負荷を低減する技術や商品の開発に取り組み、事業活動を含めたライフサイクル視点でのCO2排出量の削減を進めます。
2. 限りある地球資源の有効活用のため、3R活動を中心とした環境配慮設計を進め、循環型社会の実現を目指します。
3. 地球の環境と生物に影響を与える製品含有の化学物質を管理し、継続的な削減と安全物質への代替に努めます。
4. すべての事業活動、製品開発およびサービスが生物多様性に影響するという認識に立ち、総合的な環境負荷の低減に努め、自然環境との調和を目指します。
5. 環境側面に適用する法規制およびその他の同意した要求事項を順守します。
6. 環境保全の啓発として従業員に対して環境教育を行います。

この環境方針は、全社員に周知し、一般の方へも公開します。

2011年5月25日

環境負荷削減の取り組み事例

省エネへの取り組み

当事業所では、電力が占めるエネルギー消費比率が原油換算で98%強であることから、電力使用のムダを省くことが省エネの第一歩と位置付け、事業所を挙げた活動を進めています。

日常の小さな取り組みの積み重ねを活動の基本とし、過剰・不要な電気の利用を無くすことを目的に、安全と健康に支障をきたさない範囲の照度を確保した上での照明の間引きや消灯、空調機のタイマー運転による稼働時間の自動制御、階段利用の推奨によるエレベータ利用の抑制、離籍時のモニター電源OFFの励行の啓蒙などを中心に、活動の継続実施を図っています。



南面窓際の蛍光灯の間引き



エレベータ3基のうち1基は朝以外の運転を停止

2アップ、3ダウンの推奨表示

停止中表示



間引き 蛍光灯

消灯 蛍光灯

通路照明の消灯と間引き（併用しています）

環境コミュニケーション事例

近隣清掃への参加

毎年7月に近隣企業と合同開催の工業団地及び隣接道路の清掃ボランティア活動に参加しています。

ここ数年は落ちていたゴミの量も少なくなり街の美化に多少なりとも貢献出来ているのではと思っています。



横浜環境行動賞

平成19年度より連続して、横浜市の「分別優良事業所」に認定されました。



ペットボトルキャップの分別回収と寄付活動への参加

事業所内で飲まれたペットボトルのキャップを分別回収し、NPO法人「Reライフスタイル」が行っている「世界の子どもにフクチンを 日本委員会」へ対価を寄付する活動に参加し、感謝状を頂きました。

主旨に賛同する社員の家庭からの持ち込みもあり1年間で265kgを超えるキャップを提供させて頂くことが出来ました。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

自然災害や事故等の発生時に「敷地外へ著しい環境影響を及ぼす可能性のある作業・工程・設備」について、各々手順書を作成し敷地外への影響の波及防止や最小限に止めるための体制の構築を行っています。また、教育訓練計画の中で定期的訓練の実施や手順の見直しを行うよう定めています。

緊急事態訓練

緊急事態が発生したとの想定に基づき、被害の拡大防止対応手順の再確認、対応常備品の確認、模擬連絡の実施などを行っています。

なお、想定される緊急事態は「試験装置の原動機(大型モーター)の故障時の騒音の発生」、及び少量ですがケース等の洗浄クリーニングで用いている「アルコール類の500mlビンの破損による漏洩」などです。